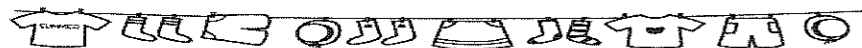




6月「あゆみの森こども園」たより



令和5年5月31日

浜北区寺島2889-1
TEL 053-585-2345
FAX 053-585-2344

アジサイが、綺麗に色づき始める季節となりました。

子ども達の笑い声が園庭に響いています。以上児クラスでは、園庭で夏野菜を育てています。野菜の生長を観察しながら、日々変化する植物の不思議に触れています。未満児クラスは、涙が止まり、好奇心の芽が芽生え、いろいろな物を触ったり叩いたりしながら沢山の面白いを探しています。雨の多い時期ですが、子供たちと沢山の発見を楽しみたいと思います。

日	曜日	行事予定	お知らせ・お願い
1	木		○8日 歯科検診 対象：全園児(てんし組は、歯が生えている園児) 時間：9：30～11：00 歯科医への受診が必要な場合のみお知らせします。
2	金		
3	土		
4	日		
5	月		○12日13日 身体測定 るくみーで記録を送りますので、お子さんの成長をご確認ください。
6	火		○14日 誕生会
7	水		6月生まれのお友達をみんなでお祝いします。
8	木	歯科検診	先生からの出し物のプレゼントもあります。
9	金	ジャガイモ収穫予定	○20日 避難訓練 雨が降っているときの避難の仕方を訓練します。
10	土		○23日 保護者参観会(幼児) 対象：にじ組、ゆめ組、そら組 時間：にじ組→9：00～10：10 ゆめ組→10：00～11：30 そら組→13：00～14：00 14：00～14：50 親子講座(命の大切さ)
11	日		詳しくは、後日、お知らせします。
12	月	身体測定(未満児)	○26日 プール開き(以上児) プール遊びを楽しく安全に行えるようにお話をしていきます。また、プールの行い方もなるべく密を避けるようにしていきます。
13	火	身体測定(以上児)	<お知らせ>
14	水	誕生会	・雨の多い時期になります。長靴を履いて登園してくる場合、園内では運動靴に替えてください。
15	木		雨が上がれば運動靴で遊びます。
16	金	親子ひろば	・5月25日の内科検診が未受診の園児は、6月15日(木)までにハーモニーファミリークリニックでの受診をお願いします。結果表を提出してください。
17	土		・降園時に駐車場が込み合い、ご迷惑をおかけしています。駐車場は、園内駐車場・キッズクラブ前駐車場・保護者職員駐車場(教会近く)があります。支度が終わりましたら、速やかに降園してください。ご協力をお願いいたします。
18	日		
19	月		
20	火	避難訓練	
21	水	口を育む講座	
22	木		
23	金	保護者参観会(以上児)	
24	土		
25	日		
26	月	プール開き(以上児)	
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		

<7月の行事予定>

1日(土)	後援会夏祭り準備
4日(火)	避難訓練
5日(水)	保護者参観会(未満児) わかば組→9：30～10：30 ひかり組→9：45～10：45 てんし組→10：00～10：40
7日(金)	七夕会
10日(月)	プール開き(未満児)
13日(木)	うどん打ち体験(そら組)
15日(土)	夏祭り
19日(水)	誕生会
21日(金) 22日(土)	お泊り保育(そら組)
28日(金)	エアパーク(ゆめ組)



お目を拝借

今年も給食室の塀の巣につばめが卵を産み、雛がかえり、かわいい声が聞こえています。親ツバメは、1日に300回から500回、餌を運んで来て、子ツバメに与えるそうです。ものすごいエネルギーです。子を思う親の気持ちは、人間もツバメも変わらないなあと思います。

さて、子供たちは、園での生活にも慣れ、笑顔がいっぱい見られるようになりました。可愛い仕草や楽しいお話もたくさん聞かせてくれます。うれしい限りです。そして、右脳遊びや運動など毎日の取り組みも、楽しみながら精一杯頑張っています。そのたびに、「すごいね。」「素敵だね。」と認める言葉がけをしています。では、どうして人間は、学ぶのでしょうか？お子さんから「なんで勉強するの？」と問われたら何と答えますか？私は、「世の中の役に立つ人になるため」と伝えています。自分を大切にすることはもちろんですが、たくさんの人の笑顔や喜びのために学ぶことに本当の意味があると思います。このほかにも、自分の成長のため、自分の夢や目標をかなえるためなど、考え方は様々です。時には、お子さんに「どうして学ぶの？」と聞いてみましょう。自分の言葉で話すことで、意味を考え、自分の夢が見つかることがあるかもしれません。お子さんが、勉強の意味を理解するまでは、時間がかかります。ただ勉強すること自体が目標にならないように、親は、お子さんのもっと先を見据えて、学ぶ目的を意識させ、志と夢を持てるように育てていきましょう。まずは、暗示のように伝えることも大切かもしれません。